

低炭素社会の推進

大量消費、大量廃棄の社会システムを見直し、エネルギー消費が最小限に抑えられ、温室効果ガスの排出が抑制された低炭素社会を構築していきます。

●グリーンカーテン設置の推進

エアコンの使用を減らし省エネと地球温暖化防止に貢献するため、また夏場の街なかにくるおいを与えるため、グリーンカーテン設置を呼びかけています。令和2年度はグリーンカーテンづくりに適しているゴーヤ苗1,300株を市民及び公共施設に配布しました。市民配布分は市内コミュニティセンター7か所に分かれて配布しました。



●今日から始めよう！食品ロスの削減

廃棄物のうち、食べ残しや売れ残り、賞味期限切れなどにより、食べられるのに捨てられてしまうものを「食品ロス」といいます。

平成30年度の推計値によると、日本では、年間2,531万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、食品ロスは600万トンであり、国民一人当たり換算すると「お茶碗約1杯分のご飯」が毎日捨てられていることとなります。



ほんのちょっとした心掛けで食品ロスは減らすことができます。一人ひとりが「もったいない！」を意識して、日頃の生活を見直してみましよう。

■買い物や調理をする時には・・・

- ・買い物前に冷蔵庫をチェック、必要な分だけ買いましょう。
- ・調理は食べきれぬ量にし、残った時は料理を見直し、工夫をしましょう。

■外食をする時には・・・

- ・食べきれぬ量を注文しましょう。
- ・どうしても残ってしまった時は、店の許可を得て持ち帰り、早めに食べましょう。

生活環境の保全

公害問題の解決と防止に取り組み、公害のない安心なまちと快適なまちなみの形成を目指します。

●公害防止対策の推進

公害問題の解決と防止に取り組み、公害のない安心なまちを目指し、快適で美しいまちなみを形成するため、法令等に基づく事業所・工場等への指導・許可、立入検査を行っています。令和2年度は工場排水調査、工場臭気調査等、のべ33件の立入調査を行いました。



環境に配慮した行動の実践と拡大

市民一人ひとりが環境問題について学び、考え、環境にやさしい行動を積極的に実践します。

●そうかの環境展

例年開催しているそうか環境とくらしフェアなどのイベントが新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったことから、令和2年度は草加環境推進協議会と協働で、市立中央図書館で「そうかの環境展」を開催しました。特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの防除活動やグリーンカーテンの写真展示など、市内の環境保全、生物多様性保全の取組についてパネル等を展示しました。



生物多様性そうか戦略

本市では「生物多様性そうか戦略」を策定し、生物多様性の保全に努めています。都市化の進む本市にも緑地や水辺、ビオトープなど身近な自然に多くの生きものたちが暮らしています。市内に生息・生育する絶滅危惧種や外来種を知り、身近な自然に親しみながら生きものに会うとともに、かけがえのない「そうかの自然」を守り、次世代の子どもたちへ残していきます。

●生きもの調査

市内に生息・生育する動植物について学びながら、残された自然を守るため、市民参加による生きもの調査を行っています。市民調査員を募集し、個別調査をお願いしているほか、令和2年度は集合調査会を2回実施し、のべ73人が参加しました。

